

平成三十年

新年のご挨拶



一般社団法人 富田林医師会

会長 堀野 俊男

新年明けましておめでとうございます。富田林医師会会員の皆様におかれましては、新年を迎え、また新たな気持ちで診療に臨もうと考えておられることと思います。

昨年2017年いろいろなことが起こりました。トランプ大統領就任、大手企業(東芝、日産、神戸製鋼等)の粉飾及び偽装改ざん、大相撲稀勢の里横綱昇進、ブルボンちえみ(マラソン等)ブーム、森友学園問題、アスクル大規模火災、プレミアムフライデー、政治家(豊田等)不祥事、経営破綻(てるみくらぶ)、任天堂スイッチ発売、ミサイル問題(北)、浅田真央引退、じゃがいも危機、レゴランド開業、メルカリ現金売買騒動、眞子さま婚約、ランサムウェア、アニサキス寄生虫、韓国新大統領、藤井四段、加計学園問題、豊洲問題、小林麻央さん、ヒアリ、都民ファースト、沖ノ島世界遺産、九州豪雨、ポテサラO-157、VALU事件、100m9秒台、SMAP、安室奈美恵引退発表、相撲界暴力問題、等々。一方医療界でも、さまざまな動きがありました。4月に開始予定でしたが1年延期された新専門医制度をめぐる動きや、2016年から社会問題となっていました「働き方改革」の波が起こり、2018年度診療報酬・介護報酬同時改定に向けた議論が活発に行われるようになりました。その結果、12月になって2018年度診療報酬改定ではネットでマイナス1.19%、本体でプラス0.55%となったとの発表がありました。10月の「大義なき解散」と言われた衆議院議員総選挙では与党の自民党・公明党が圧勝し、診療報酬改定や薬価制度改革などが官邸主導で進む度合いはますます強まっているように思われます。また、「予防接種の同時接種」に関する裁判は、大阪地裁での1審では富田林市、富田林医師会側の全面勝訴でしたが、オンブズマン側が控訴したため、現在高裁の判断を待っている状態です。

今年度は、大阪府医師会、富田林医師会では役員改選の年となります。府医は茂松体制の続投でしょう。私事ではございますが、富田林医師会の会長に就任して6年が経ちました。前会長も3期6年で交代しておられますので、そろそろ医師会長の交代の時期かなと考えております。医師会業務で、3Kと言われて久しい、会長、警察医、健康保険審査のうち2つをこなしてきたのですが少し疲れてきたというのが本音です。某柏原の会長のように3つを10年以上続けておられる先生もおられますが…。

今年の干支は戌年です。干支には守護本尊がついていて昨年の酉は「商売繁盛」と言われていましたが何故かという、守護本尊は不動明王で「病魔退散、家内安全、商売繁盛」が叶うとされていることからです。では戌年かというと阿弥陀如来が守護本尊で「極楽浄土に導き、救済の力、滅罪、敬愛」の利益があると言われていました。ただご利益を待つだけでなく、戌年には勤勉で努力という意味もありますので、ご利益を自ら手繰り寄せるよう努力して行きましょう。

最後に皆様のご多幸を祈念し、穏やかな1年であることを願って新年のご挨拶といたします。

